

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	<b>消防業務推進事業</b>			予算額	<b>12,615</b>		
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	12,615		
<事業の目的・内容> 消防出初式、表彰事務等について、円滑かつ効率的な消防業務の推進を図ります。				財政局長	12,615		
				市長		12,615	
				査定区分	A		
				前年度予算額	12,297		
				増減	318		
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。						
事務事業名	<b>消防局運営事業</b>			予算額	<b>128,635</b>		
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	128,635		
<事業の目的・内容> 消防行政を推進するための事務執行に係る執務環境の適正な維持管理(複写機や仮眠用寝具の借り上げ等)及び消防活動の円滑化と安全確保(消防服の調達等)に係る内部管理を行います。				財政局長	128,635		
				市長		128,635	
				査定区分	A		
				前年度予算額	135,716		
				増減	△ 7,081		
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。						
事務事業名	<b>消防署運営事業</b>			予算額	<b>6,747</b>		
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	6,747		
<事業の目的・内容> 消防署所における、消防事務の執行及び適正な執務環境の維持に必要な消耗品・物品の調達等に係る内部管理を行います。				財政局長	6,747		
				市長		6,747	
				査定区分	A		
				前年度予算額	7,337		
				増減	△ 590		
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。						
事務事業名	<b>消防企画管理事業</b>			予算額	<b>7,800</b>		
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課			〔要求と査定経過〕			
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	8,047		
<事業の目的・内容> 大規模化、多様化する災害活動に対応できるように、消防力の充実強化を図ることを目的に、災害対策活動拠点施設となる消防署所について、平成23年度に策定した「さいたま市消防力整備計画」に基づき、整備を実施します。 また、消防法に定められている消火、救助、救急活動等に起因する賠償事故、訴訟に対応する事務を実施します。				財政局長	7,800		
				市長		7,800	
				査定区分	B		
				前年度予算額	1,492		
				増減	6,308		
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。						

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	<b>消防システム推進事業</b>			予算額	<b>4,099</b>	
局/部/課	消防局/総務部/消防企画課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	21	
<事業の目的・内容> 消防緊急情報システム(支援)において電算化された災害時支援情報及び消防内部事務について、迅速かつ効率的に運用するため、システム改修等による維持管理を実施します。 また、情報通信技術の発達に伴い、局内における情報セキュリティの向上を図ります。				財政局長	21	
				査定区分		A
				前年度予算額		17,356
				増減		△ 13,257
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	<b>職員研修事業(消防職員課)</b>			予算額	<b>51,340</b>	
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	51,410	
<事業の目的・内容> 職員が、職務の遂行上必要な知識及び技術等を修得し、更に市民ニーズに応えられる職員の育成を図ることを目的として消防職員研修を実施します。 また、安全運転管理体制の推進等についての事業を実施します。				財政局長	51,410	
				査定区分		A
				前年度予算額		49,389
				増減		1,951
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	<b>職員管理厚生事業</b>			予算額	<b>11,590</b>	
局/部/課	消防局/総務部/消防職員課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	11,590	
<事業の目的・内容> 職場における職員の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することにより、市民に安心して暮らせる環境を整備することを目的に、局内の衛生管理、職員の予防接種の推進等について事業を実施します。				財政局長	11,590	
				査定区分		A
				前年度予算額		11,255
				増減		335
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					
事務事業名	<b>消防装備運営事業</b>			予算額	<b>929</b>	
局/部/課	消防局/警防部/警防課			〔要求と査定経過〕		
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	929	
<事業の目的・内容> 全国消防長会事業(事業推進委員会)への参加活動により、全国の消防行政との情報を交換して消防制度や技術の総合研究を行います。				財政局長	929	
				査定区分		A
				前年度予算額		383
				増減		546
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。					

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	<b>災害対策事業</b>			予算額	<b>500</b>
局/部/課	消防局/警防部/警防課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	500
<事業の目的・内容> 消防の広域援助体制として「緊急消防援助隊」が法制度上明確化され、本市では現在39部隊を緊急消防援助隊として登録しています。派遣部隊は、ライフラインが寸断された被災地において、72時間以上活動することを可能とするために必要な輸送・補給活動等を行うことを求められているところであり、出動の求めに速やかに対応すべく「出場計画等の充実化」を図ります。				財政局長	500
				市長	500
				査定区分	A
				前年度予算額	500
				増減	0
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	<b>警防業務推進事業</b>			予算額	<b>29,768</b>
局/部/課	消防局/警防部/警防課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	29,768
<事業の目的・内容> 社会構造の発展による都市構造の変化や市民の生活様式の変化に伴い、年々多様化する消防への市民ニーズを的確に把握し、より高度かつ先進的な消防体制の構築のため、また、幅広く市民に対し「安心・安全」をアピールするため、教育訓練の実施及び計画的な装備の充実化を図ります。				財政局長	29,768
				市長	29,768
				査定区分	A
				前年度予算額	32,304
				増減	△ 2,536
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	<b>救急業務推進事業</b>			予算額	<b>36,257</b>
局/部/課	消防局/警防部/救急課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	36,257
<事業の目的・内容> 救急活動に必要な資器材などの質的充実を図りながら市民の安心安全を確保するとともに、救急需要対策を推進し、市民に的確な救急サービスを提供します。				財政局長	36,257
				市長	36,257
				査定区分	A
				前年度予算額	36,671
				増減	△ 414
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	<b>救急高度化推進事業</b>			予算額	<b>21,074</b>
局/部/課	消防局/警防部/救急課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	21,074
<事業の目的・内容> より高度な救急サービスを市民に提供するためにメディカルコントロール体制を推進します。また、市民に対し応急手当の正しい知識と技術の普及を推進します。				財政局長	21,074
				市長	21,074
				査定区分	A
				前年度予算額	22,620
				増減	△ 1,546
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%～100%未満 C:査定率60%～80% D:査定率40%～60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	<b>指令業務推進事業</b>			予算額	<b>1,453,857</b>
局/部/課	消防局/警防部/指令課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	1,520,848
<事業の目的・内容> 消防業務の基幹である消防緊急情報システム(指令システム・支援システム・画像伝送システム等)を万全に維持管理するとともに、日々進化するICT技術に即したシステムの最適化を図ります。 また、電波法で定められた期限(平成28年5月末)までにデジタル方式へ移行が必要な消防業務で使用するアナログ無線機を万全に整備します。				財政局長	1,453,857
				市長	1,453,857
				査定区分	B
				前年度予算額	597,766
				増減	856,091
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。				
事務事業名	<b>火災予防推進事業</b>			予算額	<b>33,802</b>
局/部/課	消防局/予防部/予防課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	36,146
<事業の目的・内容> 住宅防火対策をはじめとした各種火災予防対策の推進及び火災原因究明のための調査技術の向上を図るとともに、市民や事業所の火災予防思想を普及啓発し、火災発生防止や火災による被害の軽減を図ります。 また、積極的に消防広報を推進し、市民や事業所の消防に対する理解を深めます。				財政局長	36,146
				市長	36,146
				査定区分	A
				前年度予算額	48,740
				増減	△14,938
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	<b>予防規制等推進事業</b>			予算額	<b>3,059</b>
局/部/課	消防局/予防部/査察指導課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.165	9款 消防費	1項 消防費	1目 常備消防費	要求	4,723
<事業の目的・内容> 消防法及び関係法令に基づき、建築確認に伴う消防用設備等設置に係る消防同意事務、危険物施設・ガス及び火薬類の許可等の審査事務及び防火対象物等への立入検査、違反処理を行い火災予防の徹底を図ります。				財政局長	4,723
				市長	4,723
				査定区分	A
				前年度予算額	3,099
				増減	△40
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。				
事務事業名	<b>消防団運営事業</b>			予算額	<b>202,578</b>
局/部/課	消防局/総務部/消防総務課			〔要求と査定経過〕	
予算書P.165	9款 消防費	1項 消防費	2目 非常備消防費	要求	203,880
<事業の目的・内容> 地域防災の中核的存在である、消防団の運営を適切に推進していくために必要な事業を行います。 また、自警消防団の運営に必要な事業を行います。				財政局長	202,578
				市長	202,578
				査定区分	B
				前年度予算額	211,675
				増減	△9,097
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。				

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	<b>消防施設等維持管理事業</b>			予算額	<b>396,992</b>			
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課			〔要求と査定経過〕				
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費	要求	409,471			
<事業の目的・内容> 消防庁舎及び消防団施設等を対象に、建築物の維持管理に関する法令等を遵守し、安全で衛生的な環境を確保するため、適正な保守点検、修繕、改修等を行うことにより、突発的な事故を抑制し、職場環境の安全性向上を図ります。				財政局長	396,992			
				市長		396,992		
				査定区分	B			
				前年度予算額	429,663			
				増減	△ 32,671			
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。							
事務事業名	<b>消防施設等整備事業</b>			予算額	<b>557,522</b>			
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課			〔要求と査定経過〕				
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費	要求	1,901,062			
<事業の目的・内容> 消防体制の充実強化及び消防署所を計画的に整備するため、(仮称)緑消防署等複合施設建設工事、非常用自家発電設備の改修、自家用給油施設の建設及び指令センター庁舎の整備を行います。 また、美園第3分団車庫及び常盤分団車庫の整備に伴う設計業務等を行うほか、大久保第2分団車庫移転建設工事等を行います。				財政局長	557,522			
				市長		557,522		
				査定区分	E			
				前年度予算額	310,391			
				増減	247,131			
査定の考え方	(仮称)緑消防署等複合施設について、実施設計業務の完了が遅れたため工事費を見送ったこと等により、所要額を精査しました。							
事務事業名	<b>消防水利整備事業</b>			予算額	<b>145,432</b>			
局/部/課	消防局/総務部/消防施設課			〔要求と査定経過〕				
予算書P. 165	9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費	要求	150,890			
<事業の目的・内容> 消防水利の基準(消防庁告示第7号)に基づき耐震性防火水そう及び消火栓の設置を行うとともに、常時使用できるように維持管理を行います。				財政局長	145,432			
				市長		145,432		
				査定区分	B			
				前年度予算額	93,354			
				増減	52,078			
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。							
事務事業名	<b>消防装備等維持管理事業</b>			予算額	<b>168,638</b>			
局/部/課	消防局/警防部/警防課			〔要求と査定経過〕				
予算書P. 167	9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費	要求	168,638			
<事業の目的・内容> 消防車両及び資機材について、災害に備え迅速確実に対応できるように、常に良好な状態を保つため維持管理を行います。				財政局長	168,638			
				市長		168,638		
				査定区分	A			
				前年度予算額	125,108			
				増減	43,530			
査定の考え方	所管局の要求どおり計上しました。							

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名	消防装備等整備事業			予算額	463,333
局/部/課	消防局/警防部/警防課			〔要求と査定経過〕	
予算書P. 167	9款 消防費	1項 消防費	3目 消防施設費	要求	529,209
<事業の目的・内容> 老朽化した消防車両を計画的に更新し、消防力の強化を図ります。				財政局長	463,333
				市長	463,333
				査定区分	B
				前年度予算額	538,638
				増減	△ 75,305
査定の考え方	既存事業の実績等を踏まえ、所要額を精査しました。				

〔査定区分〕 A:要求どおり B:査定率(査定/要求)80%~100%未満 C:査定率60%~80% D:査定率40%~60% E:査定率40%未満  
 ※ 市長査定終了後、効率的な予算執行等の観点から他局等に予算を移管した場合、市長査定額と最終予算額が異なります。